

令和7（2025）年度4月/10月入学

大学院科目等履修生 募集要項

教育学研究科 教育学専攻
（修士課程）

教育実践研究科 教育実践専攻
（専門職学位課程）



星槎大学大学院

星槎大学大学院について

本学は、教育学研究科（博士後期課程、修士課程）、教育実践研究科の2つの研究科（3つの課程）で構成しています。以下の内容を確認した上で、出願してください。

教育学研究科 教育学専攻 （修士課程） 【通信制】	教育の高度な学術研究を通じて、教育の各分野・領域に内在する次世代に繋ぐ教育の深奥な専門的知識・技術を培い、その卓越した能力を、発揮することにより、教育における課題解決をもって共生社会の進展に貢献できる人材を養成していくことを目的とする。（星槎大学大学院学則）
教育実践研究科 教育実践専攻 （専門職学位課程） 【通学制】	星槎大学大学院教育実践研究科（専門職学位課程）は、建学の精神に則り、学校を中心とした学習社会において教育の中核を担う小学校・中学校・高等学校に在職している教員の教育力の向上と、専門学校等の職業人養成機関の教員の養成と資質向上をめざして、専門的職業を担うための深遠な学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。（星槎大学大学院専門職大学院学則）

■科目等履修生

本研究科では、開講科目の中から免許や資格に必要な科目や、専修免許状への上進のための科目、興味・関心のある分野を学修できます。

大学院に進学したいが、今は十分に時間が確保できない、興味のある分野が絞り切れない、勉強することが久しぶりで大学院の授業についていけないか不安など、さまざまな理由で、大学院進学を躊躇している方もいらっしゃると思います。そのような場合は、本制度を大学院進学への準備として活用することができます。取得した単位は、本大学院に正科生として入学した場合、本大学院における科目履修により修了した単位として認定されます。また、すでに大学院を修了した方も見識をより一層深めるために本制度を活用してください。

■募集人員・日程

募集人員	若干名
出願期間	4月生 令和7（2025）年 3月25日（火）～3月31日（月）
	10月生 令和7（2025）年 9月24日（水）～9月30日（火）
合格発表	4月生 令和7（2025）年 4月中（予定）
	10月生 令和7（2025）年10月中（予定）

※出願については、提出フォームからの送付（最終日の17時まで）。各種証明書の郵送等での送付は消印有効。詳細は、「出願・入試の詳細」を参照してください。

■各種指定様式について

出願書類のうち本学指定の様式については、大学院 HP 上に掲載していますので、ご自身でダウンロードの上、使用してください。

教育学研究科（修士課程） <https://gred.seisa.ac.jp/master/opencampus/non-degree/>
教育実践研究科（専門職学位課程） <https://gred.seisa.ac.jp/professional/opencampus/non-degree/>

出願・入試の詳細（研究科共通）

募集人員	若干名	
出願期間	4月生	令和7（2025）年 3月25日（火）～3月31日（月）
	10月生	令和7（2025）年 9月24日（水）～9月30日（火）
合格発表	4月生	令和7（2025）年 4月中（予定）
	10月生	令和7（2025）年10月中（予定）

※出願については、提出フォームからの送付（最終日の17時まで）。各種証明書の郵送等での送付は消印有効。

以下の項目をよくご確認のうえ、出願してください。

1. 出願資格

学士の資格を有する者（もしくは学士の資格を取得する見込みの者）、またはこれと同等以上の学力を有すると研究科が認めた者です。

2. 出願書類

様式1～4は、必ず、大学院 HP (<https://gred.seisa.ac.jp/>) からダウンロードの上、使用してください。

- (1) 科目等履修生入学志願書（様式 1-1、1-2、1-3）
- (2) 志望理由書（様式 2）
- (3) 最終出身学校の成績証明書（証明日 6 ヶ月以内、原本） ※1
- (4) 最終学歴卒業／修了（見込）証明書（証明日 6 ヶ月以内、原本） ※2

3. 出願上の注意事項

- (2) 出願書類の記入にあたっては別紙「書類の書き方」を参照し、黒の万年筆またはボールペンを用いた手書きで作成、または、指定様式を用いて文章作成ソフト(word)で作成してください。
- (3) 出願書類に記入する氏名及び生年月日等は、住民票または登録原票記載事項証明書の記載事項と一致させてください。
- (3) 証明書の氏名が出願時と異なる場合、その変更が確認できるものを添付してください。
- (5) 出願後、記入内容の変更はできません。出願書類及び入学手続き書類等に虚偽の記載があった場合は、入学が取り消される場合がありますのでご注意ください。
- (6) 出願書類および選考料は、いかなる理由でも返還いたしません。
- (7) 出願書類の送付には必ず配達記録が残る書留等で送付してください。
- (8) 海外在住者も入学可能です。ただし、以下の点にご注意ください。
 - ・本学からの全ての送付物（郵便・宅配便等）の宛先は、日本国内のみです。
 - ・スクーリング時間等は日本時間のみでの実施です。
 - ・外国籍もしくは日本語を母語としない方は、スクーリングや事務連絡等はすべて日本語で行いますので、理解するにあたり支障のない日本語能力（N1相当）が必要です。
 - ・本大学院（通信制課程）では在留資格は取得できません。詳細は、ご自身で出入国在留管理庁へお問い合わせください。

4. 選考方法

書類選考の上、履修を許可します。ただし、履修要件を満たしていても研究科で設定する定員を超えた科目については履修できない場合があります。あらかじめご了承ください。

5. 合格発表

研究科共通	
発表日時	4月生 令和7（2025）年 4月中 10月生 令和7（2025）年10月中
発表方法	出願書類に記載されたメールアドレスへ通知します。入学に関する書類のリンクが明示されますので、案内に沿って、入学手続きを行ってください。 ※このメールをもって通知とします。 ※合格発表前に、合否の照会は一切応じません。

6. 入学手続き

合格が通知されたメールに記載されている内容を確認の上、必要書類を入手し、手続きを行ってください。

出願の流れ

出願準備	<p><全員 共通> 以下の1~4は、出願者全員が共通して行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none">1、出願書類の書式をダウンロード、すべての書式に記入2、各種証明書の準備3、選考料の支払い4、Gmail を作成、もしくは既にお持ちのメールアドレスで Google アカウントを作成 <p>※Google アカウントは、出願書類の提出に必要です。 ※出願・入試の詳細を参照してください。</p>
-------------	---



出願	<p>次の方法で出願してください。</p> <p>【Web 出願】</p> <ol style="list-style-type: none">1 記入した出願書類を Word ファイルから PDF ファイルに変換してください。2 顔写真データを準備してください。3 選考料の受領証を写真データ（もしくは PDF ファイル）にしてください。4 必ず大学院HPにある提出フォームから提出してください。5 <u>各種証明書のみを下部【提出先】へ必ず配達記録が残る書留等で送付してください。</u> <p>※証明書は発行機関からのデジタル発行も受けれます。その場合の送付先は、<info_gr@seisa.ac.jp>とします。</p> <p><Web 出願での顔写真について></p> <ul style="list-style-type: none">・出願者本人であることを証明できる顔写真データが必要です。・入学志願書（様式 1-1）に貼付するデータと同一データです。・以下の条件を満たし、スマートフォン等で撮影してください。<ul style="list-style-type: none">○出願3か月以内に撮影（無帽、上半身正面、背景無地）の鮮明なカラー写真○データ形式：「JPEG/PNG」○データサイズ：100KB 以上、5MB 以下 <div data-bbox="456 1563 1347 1816" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【提出先】 星槎大学大学院事務局 入試係（横浜キャンパス）</p><p>〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター5F</p></div>
-----------	--



出願完了	下部の「審査から入学手続きまでの流れ」をご確認ください。
-------------	------------------------------

出願から入学手続きまでの流れ（研究科共通）

出願

- ・上記、「出願の流れ」に則って、出願してください。



履修許可の 通知

- ・出願書類に記載されたメールアドレスへ送付します。
- ・必ず受信確認の返信をしてください。



手続き

- ・出願書類に記載されたメールアドレスに届いた通知に従って、手続きを行ってください。



学修開始

- ・シラバス、学修指導書に従って、学修を開始してください。

修学に関する制度など（研究科共通）

■履修に関するお知らせ

1. スクーリング・授業日程は以下の通りです。

研究科	日程	曜日	時間
教育学研究科 修士課程	春日程（5～7月） 秋日程（10～1月）	土曜日、日曜日、 祝日	全日：10:00～17:00 午前：10:00～13:00 午後：14:00～17:00
教育実践研究科 専門職学位課程	1学期（5～6月） 2学期（7～9月） 3学期（10～12月） 4学期（12～3月）	月曜日、金曜日、 土曜日、日曜日	1限：9:45～12:45 2限：13:30～16:30

2. 本学ではスクーリング・授業をオンラインで（ZOOM）で実施しています。またLMS（学修支援システム）として、学生ポータルサイトおよびGoogle classroom（グーグル クラスルーム）を使用しています。スクーリングや授業に関するお知らせ、課題の提出、資料配布等にはGoogle classroomを使用し、成績確認として学生ポータルサイトを使用します。すべての操作はご自身で行っていただきますので、インターネットに接続し、スクーリング・授業を受講できるレベルの通信環境を準備してください。利用方法などの詳細については入学手続時に通知します。
3. 授業内容や授業計画等を記載したシラバスは、本学大学院HPで公開されています。出願にあたっては必ず確認してください。
4. 科目等履修生には、学生証および学生割引証は発行しません。
5. 単位修得した者には、本人の請求により成績・単位修得証明書（有料）を発行します。
6. 出願時に公開されている時間割の曜日・時限は変更となる場合があります。
7. 授業の一部または全部を対面方式（横浜キャンパス）で実施する場合があります。
8. 正科生の履修登録がない科目は、履修することができません。

■修得単位の認定について

教育学研究科修士課程は半年ごと、教育実践研究科は学期ごとに修得単位の認定を行います。単位が認定され、本人が請求する場合には、成績・単位修得証明書（有料）を発行します。詳細は大学院HPをご確認ください。

<https://gred.seisa.ac.jp/certificates/>

■既修得単位の認定について

本学入学前に、大学院（本学・他大学院）において履修した授業科目の修得単位について、教育上有益と認めるときは、本学における履修により修得したものとみなして認定することができる制度です。詳細は、入学後に案内します。

教育学研究科 教育学専攻（修士課程）

<p>設置の趣旨</p>	<p>建学の精神に則り、教育の高度な学術研究を通じて、教育の各分野・領域に内在する次世代に繋ぐ教育の深奥な専門的知識・技術を培い、その卓越した能力を、発揮することにより、教育における課題解決をもって共生社会の進展に貢献できる人材を養成していくことを目的とする。</p>
<p>アドミッション・ポリシー 入学者受け入れの方針</p>	<p>教育学研究科では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自らの実践を発展させていくことを目指す現職教員 2. 教育に係る諸課題を解決しようとする専門職及びそれを協働的・探究的に解決しようとする意欲のある方 3. 国内外での様々な活動を通じて共生社会の実現に貢献したい方 教育に関して高度に研究する意欲と基礎的能力がある方の入学を期待します。 <p>本研究科では、学生が学修かつ研究した成果をベースに自らの実践を省察しながらその資質能力の質的向上を図りつつ、学校現場や地域において、教育環境の創造を推進できる人材の育成、および、実践に基づく高度な研究を展開できる研究者の養成を目指します。</p>
<p>カリキュラム・ポリシー 教育課程編成・実施の方針</p>	<p>高度な実践的指導力を備えた教員、学校現場や地域社会における具体的な課題を発見・設定し協働して解決できる即戦力を備えた高度専門職業人、知識基盤社会において様々な分野で活躍する高度かつ知的な素養のある人材、将来博士後期課程に進学するなどして高度な研究を展開できるような基礎的素養を備えた研究者を養成します。</p> <p>そのような人材養成の目的を実現するための教育課程の編成にあたっては、授業科目を本研究科の基礎となる本学共生科学部の理念を基盤とし大学院での研究を進めるための基幹科目、教育分野に関して理論及び応用を教授研究しその深奥をきわめるための専門科目、広い視野に立って教育に関する精深な学識を得るための関連科目、学修の成果を修士論文に結実させるための研究指導科目に区分し、体系的な学修研究ができるようにしています。</p>
<p>ディプロマ・ポリシー 学位授与の方針</p>	<p>養成すべき人材像に照らし、以下の1から3をすべて満たす事を本研究科のディプロマ・ポリシーとし論文審査、口述試験にて確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 知識および課題探究力、問題解決力 教育に関する修士課程レベルの理論的、実践的、方法論的知識、および課題を探究する力、ならびに問題解決ができる力を身につけている。 2 研究遂行能力 教育に関わる研究課題について独自性のある研究計画を立案し、研究倫理を遵守しつつ研究を遂行し、その成果を修士論文にまとめ発信する力を備えている。 3 共生社会への貢献力 自身が行う教育活動を基軸として広く共生社会の創出に貢献する力を備えている。

教育実践研究科 教育実践専攻（専門職学位課程）

<p>設置の趣旨</p>	<p>建学の精神に則り、学校を中心とした学習社会において教育の中核を担う小学校・中学校・高等学校に在職している教員の教育力の向上と、専門学校等の職業人養成機関の教員の養成と資質向上をめざして、専門的職業を担うための深遠な学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。</p>
<p>アドミッション・ポリシー 入学者受け入れの方針</p>	<p>本研究科で養成する人材は、学校教員、専門学校等の職業人材養成機関の教員等である。これらの人材のうち、教育の諸課題を適確に理解して対応し、また学習者の特性を理解したうえで指導できるようになることを目指す方の入学を期待します。そのために、次に掲げる能力、目的意識、意欲等を備えた学生を求めます。（１）継続的な学修を行い、教育に関連する専門職として職務を遂行するための心身の自己管理能力を有する者であること（２）修了後に、教育の専門職者として活動するために求められる知識や技能等を修得することに対する明確な目的意識を有している者であること（３）教育に関わり生涯にわたり自己研鑽を積む意欲を持つ者であること また、入学者選抜においては、以下のような評価方法を用います。（１）選考は、事前提出の小論文による出願書類に係る書面審査、論述審査、面接審査により行う。（２）審査においては、上記の３つの能力、目的意識、意欲を測るために設けられた評価規準により総合的に判断する。</p>
<p>カリキュラム・ポリシー 教育課程編成・実施の方針</p>	<p>本研究科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、教育課程を以下のように編成します。</p> <p>1. 教育課程編成の方針および教育内容</p> <p>（１）次の４つの資質能力を涵養する教育課程を編成します。</p> <p>①教育に関した深い専門的学識と社会人として優れた見識を備えるとともに、倫理規範をわきまえ、教育課題の解決に立ち向かう意欲と行動力</p> <p>②教育に関した深い専門的学識を身に付け、不断に教育理論の構築と探求を行って、優れた実践力・指導力を教育指導の現場で発揮できる能力</p> <p>③教育に関して高度な専門性を身につけ、職場での良好な対人関係や地域社会との協調関係が構築できる資質能力</p> <p>④教育に関して高度な専門性を身につけ、多様な教育現場にその理論を還元することができる能力</p> <p>（２）具体的には、倫理規範をわきまえ、教育課題の解決に立ち向かう意欲と行動力の観点から、専門職の倫理・職能及び教育実践研究に係る部分を基盤科目としています。あわせて、４つの資質能力に対応した科目を基幹科目・専門科目として配置しています。特に、教育実践の現場において実践力・指導力や関係性を構築できる能力に特化した科目を基幹科目としています。さらに、教育思想、理念・理論的な部分、教育制度等については関連科目の中で扱っています。</p> <p>（３）実践の総仕上げの機会として「教育実践演習」を設け、理論と実践の融合・往還を目指す取り組みとして「プロジェクト研究Ⅰ」「プロジェクト研究Ⅱ」を設けています。</p> <p>2. 教育方法</p> <p>（１）講義科目では、教育の専門職者としての教育的素養、最新の教育動向に関する知識や基盤的学力を身につけるため、講義、討論、発表形式等の授業を行います。</p> <p>（２）「教育実践演習」では、高度な実践的指導力を育成・向上するため、学校や教育施設等において、実務的な経験と省察を繰り返す実習を行います。</p> <p>（３）「プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ」では、教育課題の解決を目指す探究力を育成・向上するため、ゼミナール形式の授業を行います。</p> <p>（４）「専門科目群」では、教育実践に関わる専門分野の理解を深め、実践的指導力を育成・向上するため、演習、グループワーク等の授業を行います。</p> <p>（５）学修成果の実質化のために、自己の研究課題について、成果発表を通じた学生自身の課題追究、各学生の研究進捗状況をフォローアップします。</p> <p>3. 学修成果の評価</p>

	<p>(1) 「教育実践演習」「プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ」を除く授業科目の評価は、科目の態様にしたがって、試験、レポート、発表等によって行う。</p> <p>(2) 「教育実践演習」「プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ」の評価は、活動内容と取り組みの姿勢によって行う。</p>
<p>ディプロマ・ポリシー 学位授与の方針</p>	<p>以下の要件を満たす者に対して「教育修士（専門職）」の学位を授与します。</p> <p>(A) 教育に関して深い専門的学識と社会人として優れた見識を備えるとともに、倫理規範をわきまえ、教育課題の解決に立ち向かう意欲と行動力があること</p> <p>(B) 教育に関して高度な専門性を身に付け、不断に教育理論の構築と探求を行って、優れた実践力・指導力を教育指導の現場で発揮できる能力を備えていること</p> <p>(C) 教育の専門職者として、職場での良好な対人関係や地域社会との協調関係が構築できる資質能力を有すること</p> <p>(D) 教育に関して高度な専門性を身につけ、多様な教育現場にその理論を還元することができること</p>

入試に関するお問い合わせ

星槎大学大学院事務局 入試係（横浜キャンパス）
〒231-0021
神奈川県横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター5F

URL <https://gred.seisa.ac.jp/>

MAIL info_gr@seisa.ac.jp